



無料!

# SDGs診断サービス

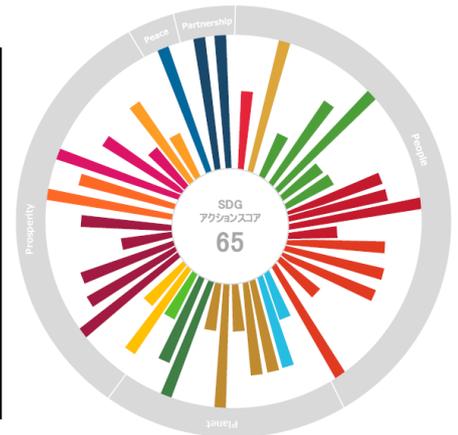
## 貴社のSDGsへの取組みを「見える化」してみませんか？

近年、社会的にSDGsへの取組みに関心が高まっております。SDGsの理念を起点にした様々なビジネスが創発されている他、企業イメージの向上などにも幅広く活用されています。一方、各分野で取組みが活発化する中、SDGsの取組状況を「見える化」したいとのニーズも高まっています。そのようなニーズを捉え、この度、設問にご回答いただくだけで、取組み状況を確認できるツール『KIBOH2030』の実証事業にご参加いただける企業さまを募集いたします。

### ● 「KIBOH2030」とは？

#### SDGsの取組みを「見える化」できる「診断ツール」です！

- ・『KIBOH2030』は、日本工営株式会社と株式会社トゥリーが2019年より開発に取り組んでいるSDGs診断ツールです。
  - ・β版完成に伴い、複数の金融機関、自治体との実証を開始しました。
  - ・WEB上で選択式の各設問に回答いただくと、SDGsの取組みをスコアリングしたグラフをご覧ください（※詳細は裏面ご参照）。
  - ・ご回答の所要時間の目安は20～30分程度です。
- 「KIBOH2030」のWEBページ <<https://kiboh2030.net/>>



### ● 実証の目的

#### SDGsへの取組状況を第三者的に評価する仕組みを構築します！

世界共通の目標であるSDGs（持続可能な開発目標）の達成に向け、SDGsへの取組み状況を第三者的に評価できる仕組みを構築し、中小企業や金融市場（ESG投融資やSDGsファイナンス等）の取組みを加速させるため、本実証を行います。

### ● 実施内容

#### SDGsへの取組み等を「見える化」する診断ツールを「無料で」ご体験いただけます！

- ・実際に『KIBOH2030』を参加企業さまにご利用（設問へのご回答）いただき、SDGs関連のお取組みのスコアリングや、ポテンシャルのある事業機会の「見える化」をご体験いただけます。
- ・また、Web面談にて日本工営（株）の説明を受けながらご利用いただくことも可能です。（希望者）
- ・ご参加による結果は、貴社のSDGs取組推進等にご自由にご活用いただけます。
- ・ご体験後、システムの利便性向上等のため、アンケートにご協力いただきます。
- ・なお、今回は実証事業のため、システム利用にあたり費用負担等はありません。（システム利用にあたっての通信料等は参加企業さまのご負担となります）。

#### <応募方法>

**募集期間** 2021年6月28日(月)～7月30日(金) ※先着30社様限定

**お申込方法** 以下の方法でご応募いただいた企業さまに、順次ご参加方法をご案内いたします。



左のQRコード、もしくは以下のURLにアクセスし、必要事項をご記入の上ご応募ください。

URL: <https://forms.gle/84MNDsavsDSrHC1u6>

※お申込み情報は、日本工営株式会社、東邦銀行にて共有し、本実証に係る各種連絡・情報提供のために利用いたします。お客様の同意なく、目的外の利用を行うことはありません。

お問合わせ先：実証モデルパートナー／東邦銀行 法人コンサルティング部 公務・地域商社事業課 024-523-0972



すべてを地域のために  
東邦銀行

# スコアリングのイメージ(設問への回答結果)

企業名:XXXXXXXX  
業種:XXXXXXXX  
回答日:XXXX年XX月XX日

<アクションチェック回答結果表示>

スコア結果



各ゴール、ターゲットの達成状況(%)を確認可能



SDGsゴール1は、あらゆる形態の貧困を終わらせるための目標です。気候変動や紛争、食料不安といった新たな脅威によって、貧困層の割合増加が予想される中で、誰もが基本的な資源やサービス確保できる活動を推進します。

引用元「SDGsが生み出す未来のビジネス 水野 賢弘/著 著者」

ターゲット 1.3 すべての人々に対し、最低限の生活水準の達成を含む適切な社会保護制度や対策を各国で実施し、2030年までに貧困層や弱い立場にある人々に対し十分な保護を達成する。

設問 x. 従業員の労働条件改善に向け、労働組合を通じた労使協議や経営層と従業員間の職場懇談会等を継続的に実施していますか

はい  いいえ  わからない

ポイント:3/3

環境、社会、ガバナンスのお取組みを  
カテゴリー毎に確認する事も可能

## ● SDGsに関する取組状況を「見える化」します

- 『KIBOH 2030』は、企業の環境 (Environment)、社会 (Social, Society)、ガバナンス (Governance) への取組みを、「経営管理」「環境マネジメント」「労働人権」「気候行動」の4つにカテゴリー化し、SDGsのセルフアセスメント(自己評価)を可能にしました。
- 設問にご回答いただくと、現在のお取組みを「100点満点中何点か」スコアリングし、それぞれのSDGsのゴールとターゲットに対する達成状況を、上記イメージのように「見える化」します。

## ● 「KIBOH2030」による「見える化」のメリット

### ✓ 評価にかかる時間を大幅に節約！

- 既存の手法でSDGsの行動に対する評価を実施するには、項目が多岐であることなどから時間と労力を要することが課題となっていました。
- 『KIBOH2030』では、時間的な負担を最低限に抑えて評価を実施できます。
- スコアリング結果は、50前後の設問にご回答いただくとその場ですぐに結果表示されます。

### ✓ 現状の強みや課題を簡単に把握できる！

- 設問にお答えいただくだけで、SDGsの観点から、現在の御社のお取組みにおける強みと課題をご確認いただけます。
- 上記のようなグラフからSDGsの各ゴール、ターゲットの中で現在達成度が高いものを把握すると共に、今後達成度を高めたいゴールに対し、具体的にどんなアクションがあり得るのか把握するきっかけとしてご利用いただけます。

※診断ツールは次の環境でご利用いただけます ■OS:Windows10 ■ブラウザ:Edge、Chrome、Firefox



すべてを地域のために  
東邦銀行